

保護者様

令和元年7月22日
たかつき保育園

感染症情報

保育園で、ヘルパンギーナと診断されたお子さんがいます。これからの夏に流行する感染症です。いわき市では手足口病が更に増加して警報レベル継続となっています。また、伝染性紅斑（リンゴ病）も増加して警報レベルです。お子さんの体調の変化に気を付けてましょう。気温の変化が激しい季節です。疲れをためず、規則正しい生活に心がけましょう。

ヘルパンギーナとは・・・乳幼児の間で流行しやすい夏かぜの一種で、38~40度の高熱が2~3日続きます。のどの奥に小さな水ぶくれができる。これがすごく痛いので、飲んだり、食べたりができなくなることもあります。水分が十分にとれないと、脱水症になることもあります。

《感染経路》飛沫、接触感染、経口感染 《潜伏期間》3~6日

《症状》突然の発熱、咽頭痛がみられる。咽頭に赤い発疹がみられ痛みを伴うことが多く、食欲不振や不機嫌、よだれが多くです。

《治療》有効な治療薬はなく、対症療法になります。口の中が痛がることが多いので、食欲不振による、脱水症に注意してください。できるだけ刺激の少なく、のど越しがいいものを与えるようにしましょう。

《登園》全身状態が安定している場合は登園可能です。（熱が下がり、喉の痛みがとれ、普通に食事がとれる。機嫌がいい。）登園時は、**登園許可証（保護者記入）**が必要です。